

よりよい方法を見付け、生活に生かそうとする態度を育む指導の工夫

－第6学年「クリーン大作戦～めざせそうじ名人～」の実践を通して－

大洲支部

1 研究の視点

- (1) 実感を伴った理解を促す実践的・体験的な活動の充実
- (2) 言語活動の充実

2 実践事例

- (1) 題材名 クリーン大作戦～めざせそうじ名人～
- (2) 目標

- 身の回りの汚れの種類や汚れ方を調べ、よりきれいに清掃しようとする。
- 汚れの種類や汚れ方に合う清掃の仕方を考えたり調べたりして、自分なりに工夫する。
- 汚れの種類や汚れ方に合った清掃をすることができる。
- 汚れの種類や汚れ方に合った清掃の仕方が分かる。

- (3) 題材設定の理由

- 6年生は通常の学級の男子1名と女子1名、特別支援学級の男子1名の計3名で学習している。3名は、多くの教科で一緒に学習し、仲良く活動している。家庭科では、5・6年生の複形態で行う授業も多い。そのため、課題について話し合いながらじっくりと学習に取り組むことが必要であるが、児童だけでは観察や実験の仕方が雑になったり、話し合いが深まらなかったりすることが多い。

3名とも、5年生になり家庭科の学習が始まったばかりの頃に家事の分担について調べた時は、「お母さんはえらい」という感想をもっただけで、自分から家事に関わろうとする意欲はあまり見られなかった。しかし、家庭科の学習を進めるうちに、洋服のほころびを自分で直したりみそ汁を作ったりするなど、既習事項を生活に生かし、自分でできることを少しずつ増やしていこうとする意欲が見られるようになってきている。

家庭科学習に関するアンケート

(平成29年9月調査)

| |
|---|
| 問1 家庭科の学習は好きですか。 とても好き 0名、まあまあ好き 2名、少し嫌い 1名、嫌い 0名 まあまあ好きな理由 ・調理実習やミシンは好きだけど、他は嫌いだから。 ・裁縫ができるようになったから。 少し嫌いの理由 ・難しいから。 |
| 問2 家での自分の仕事は何ですか。(複数回答) 風呂洗い 1名、犬の散歩 2名、犬小屋の掃除 1名、洗濯物を運ぶ 1名 |
| 問3 家の掃除をしていますか。 している 1名(2週間に1度)、していない 2名 |
| 問4 家では、どんな場所の掃除をしたことがありますか。 子ども部屋 2名、母の部屋 1名、寝室 1名、台所 1名、自分の部屋 1名 |
| 問5 どんな掃除用具を使ったことがありますか。 掃除機、ほうき、ちりとり、タオル、ウェットティッシュ、消臭スプレー |
| 問6 家での掃除で、気を付けていることはどんなことですか。 すみずみまで掃除すること。 |

アンケートの結果から、本題材の清掃の仕方という内容は、調理や裁縫に比べ、児童にはあまり関心がない分野であり、家庭での実践も意外に少ないということが分かった。学校での清掃は、低学年を含めた2・3人で一つの教室を清掃しているため、隅々まで丁寧に清掃できないことが多く、児童の意識が高まりにくい実態がある。清掃の仕方を調べて、工夫しながら適切な方法で実践し達成感を味わうことで、今後の学校生活や家庭生活に生かすことができると考える。

- 本題材は、学習指導要領の「C 快適な衣服と住まい」の「(2) 快適な住まい方 ア 住まい方」に関心をもって、整理・整頓や清掃の仕方が分かり工夫できること」のうち、6年生で取り組む清掃についての内容である。清掃は、快適で健康な生活を送るために不可欠な日常的活動である。本題材は、なぜ汚れるのか、何のために清掃するのかを考え、汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方を理解し、状況に応じた清掃の仕方を考え工夫して適切な清掃ができるようになることをねらいとしている。また、「D(2) 環境に配慮した生活の工夫」の学習と関連させ、先人の知恵や不用品を活用することにも目を向けさせたり、「A(2) 家庭生活と仕事」とも関連をもたせ、家庭での実践を家族に認めてもらったりすることで、充実感を味わわせ、学習したことを家族の一員として生かしていこうとする態度を育むこともできる。

- 指導に当たっては、児童の意欲を高めるため、家族が児童に仕事として受け持ってほしいと思っている玄関清掃に取り組ませる。一人一人が玄関の清掃の仕方を考えたりインターネットで調べたりして、家庭での実践の計画を立て、「ミニチャレンジ」として家庭で実践し、その体験を基に体育館玄関の清掃の仕方を考える。家庭で実際に清掃を体験しているため、児童同士の話し合いが深まり、掃除のポイントについての練り合いからよりよい実践へつなげることができる。

本時は、家庭での実践「ミニチャレンジ」を踏まえて、体育館の玄関をよりきれいに清掃する方法を3人で考え、工夫して清掃することをねらいとしている。

まず、ミニチャレンジで工夫したところやきれいにできたところをおすすめポイントとして互いに紹介したり、事前の発表でよい点に挙げた清掃の仕方を振り返ったりする。それを生かし、体育館玄関での清掃の手順や用具について話し合い、計画表を作る。実際の清掃活動時にも、きれいになる方法について意見を出し合い、よりよい方法を試すように促す。このような実践を通して、場所に合った方法を考えて清掃するよさを体感するとともに、きれいになったという達成感や工夫して清掃することのおもしろさを味わわせたい。

また特別支援学級の児童には、事前におすすめポイントの発表練習をさせたり、雑巾の絞り方や掃き方をアドバイスしたりして、スムーズに学習に参加できるように支援(合理的配慮)する。3人で体育館玄関の清掃の仕方を考えてきれいにすることで、達成感を味わうことができ、確かな理解につなげたい。

(4) 指導と評価の計画 (全5時間)

| 学習過程 | 時数 | 学習活動 | 評価規準・評価方法 | | | |
|-----------|--------------|--|--|--|--------------------------|--|
| | | | 関心・意欲・態度 | 創意工夫 | 技能 | 知識・理解 |
| 気付く | 1 | どんな所にどんな汚れがあるかを調べ、清掃の必要性を考える。 | 身の回りの汚れに関心をもって調べ、清掃の必要性に気付く。(観察・ワークシート) | | | 場所による汚れの種類や汚れ方の違いが分かる。(観察・ワークシート) |
| 分かる・やってみる | 3 (本時その2) | 清掃の手順や用具を知る。 自分の家の玄関清掃の仕方を調べたり考えたりして計画を立てる。(ミニチャレンジの実施) 体育館の玄関の清掃について家庭での実践を基によりよい方法を話し合い、工夫して清掃する。 玄関のたたきの掃き方にチャレンジする。 自分が選んだ場所の清掃にチャレンジする。 | 清掃の仕方を進んで調べたり考えたりしている。(観察・ワークシート) 清掃に関心をもち、よりきれいに清掃しようとしている。(観察・ワークシート) | 自分の家の玄関に合う清掃の仕方について、自分なりに考え工夫している。(観察・ワークシート) 掃除場所の課題を見付け、清掃の仕方について考えたり、工夫したりしている。(観察・ワークシート) | 汚れの種類や汚れ方に応じた清掃ができる。(観察) | 場所や汚れ方に合わせた掃除道具や清掃の仕方が分かる。(発表・観察・ワークシート) |
| 生かす | 1 | 家庭での実践を発表し、よりよい清掃の仕方をまとめる。 | 学習したことを家庭や学校での生活に生かそうとしている。(ワークシート・掲示物) | | | 汚れの種類や汚れ方に合わせた清掃の仕方が分かる。(ワークシート・掲示物) |

(5) 本時の指導 (3/5)

ア ねらい

友達の清掃のよい点を取り入れたり試したりしながら玄関の清掃の仕方を工夫し、きれいに清掃する。

イ 準備物

児童のミニチャレンジ実践ワークシートの拡大コピー、計画表用カード、ミニチャレンジの写真、掃除用具 (掃除機、ほうき、ちりとり、雑巾、バケツ、歯ブラシ、新聞紙、茶殻など)、三角巾、マスク、プロジェクター、スクリーン、OHC、ホワイトボード2台

ウ 展開

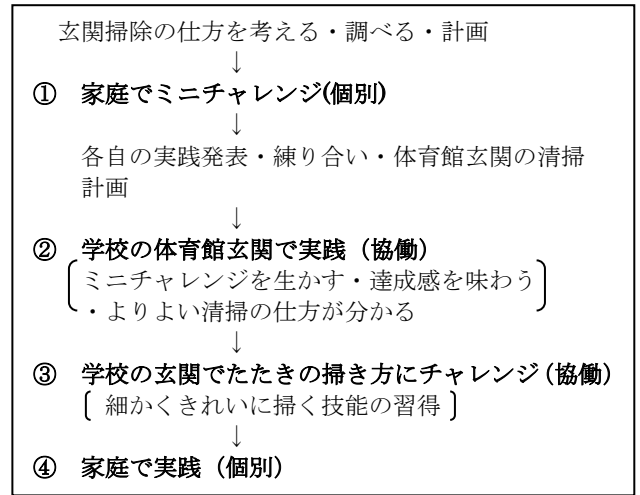
| 学習活動 | 主な発問と予想される児童の反応 | ○指導の手立て ◎評価 |
|---------------------|--|--|
| 1 ミニチャレンジについて振り返る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 玄関掃除のおすすめポイントを発表しよう。 ・天井のほこりをはらって上から掃除ができた。 ・すみずみを掃除した。 ・ドアを雑巾でふいた。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のミニチャレンジのよい点を、写真を見ながら発表し、分かりやすく伝えることができるようにする。 ○ 自分の清掃の仕方と同じところや違うところに気を付けて、友達の発表を聞くように助言し、友達のよさに気付かせる。 |
| 2 学習課題を確認する。 | <p>そうじの仕方を工夫して、体育館の玄関をきれいにしよう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 体育館の玄関を見て話し合いながらまとめていくことができるよう、計画表を用意する。 |
| 3 体育館玄関の清掃の仕方を考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達のよい点を取り入れて、きれいになる掃除の仕方を考えよう。 ・天井のクモの巣が一番上だ。 ・掃き掃除をしてから拭こう。 ・茶殻か、ぬれ新聞紙をまいてみたい。 ・他にいい掃除用具はないかな。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達の清掃のよい点を取り入れられるよう助言する。 |
| 4 計画に沿って体育館玄関を清掃する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 考えた方法で、玄関の掃除をしよう。 ・服装を整えよう。 ・柄の長いほうきでクモの巣を払おう。 ・下駄箱のすみの砂は、歯ブラシでかき出してみよう。 ・タイルの目に沿って掃くといいんだ。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の集めた掃除用具や新聞紙、茶殻、歯ブラシなどを用意しておく。 ○ 話し合いながら清掃を進めるようにさせる。 ○ 配慮の必要な児童には掃き掃除や拭き掃除の仕方を具体的に伝える。 |
| 5 学習の振り返りをする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 玄関のおすすめの掃除をして気付いたことや感想を発表しよう。 ・天井から掃除するとききれいになる。 ・茶殻をまくと、ほこりがたちにくい。 ・工夫するとききれいになってよかった。 ・隅のゴミを取るのが難しかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 友達の清掃のよい点を取り入れたり試したりして清掃の仕方を工夫し、きれいに清掃できる。(創・技/観察) ○ 計画表に感想を書き込み、よりよい清掃の仕方をまとめることができるようにする。 |
| 6 次時の課題を確認する。 | <p>はき方チャレンジをしよう。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ○ 校長先生からの指令として課題を提示し、次時への意欲をもたせる。 |

(6) 活動の実際

ア 実感を伴った理解を促す実践的・体験的な活動の充実

児童に実感を伴った理解を促すには、単に児童がインターネットで調べたり、考えたりした清掃の仕方を持ち寄って練り合うのではなく、自分が実践したことから友達に提案することが効果的だと考えた。体験を重ね、理解を確かにするために、玄関という一つの場所の清掃について以下のような4回の実践を取り入れた(資料1)。

1回目の実践(個別)では、各家庭の玄関でミニチャレンジを行った。ワークシート(資料2)に記録し、手順や工夫したこと、おすすめポイント、反省点を児童間で伝え合った。清掃の仕方が一人一人違っており、友達の実践のよい点に気付き認め合ったり、自分の実践のおすすめポイントを提案したりする活動につながった(資料3)。自分なりの頑張りを家族に褒めてもらえたことで、学習への意欲も高まった。



〈資料1 実践の流れ〉

| 1回目 | そうじの順番 | おすすめポイント | 2回目 | そうじの順番 | おすすめポイント |
|------------|---------|----------|-----|--------|----------|
| 天井の蜘蛛を掃除 | 天井の蜘蛛 | ① | | | |
| 天井の蜘蛛の巣を掃除 | 天井の蜘蛛の巣 | ② | | | |
| お掃除の道具を洗った | お掃除の道具 | ③ | | | |
| 上から下へ掃除 | 掃除の順番 | ④ | | | |
| 入り口のゴミを掃除 | 入り口のゴミ | ⑤ | | | |

工夫したこと
カーテンをつけた。

そうじのやり方
一人ずつやる。

家の人から
とてもきれいに掃除をしてくれました。
使っていない水そうが動かかなくて良かった。布でカーテンみたいにしてくれました。

おすすめポイント
天井の蜘蛛の巣を掃除するときは、新聞紙を使いたがた、ピンを外に出して玄関を広くしました。

〈資料2 ミニチャレンジのワークシート〉



〈写真1 掃除の計画〉

玄関そうじの おすすめポイント

- ★ 天井を長いほうきではいた。
- ★ ほうきで蜘蛛の巣を掃除。
- ★ 物をのけてそうじする。
- ★ ドアをふく。
- ★ くつをきれいに並べた。
- ★ 犬の毛がうがばないようにゆっくりはいた。
- ★ おくから、たたきをはいた。
- ★ 運べない物は、カーテンを付けてかくした。

そうじの仕方を工夫して、体育館の玄関をきれいにしよう。

- 1 すのこを出す。
- 2 天井のごみをはらう。 長いほうき
- 3 たたきをはく。 短いほうき 葉がら
- 4 くつ箱をふく。 ぞうきん
- 5 窓のさんをはく。 ぞうきん
- 6 窓をふく。

〈資料3 ミニチャレンジのお勧めポイント〉

〈資料4 体育館玄関清掃の計画表〉

2回目の実践では、体育館玄関の清掃計画を立て、その清掃を行った。ここでのねらいは、体育館玄関の汚れの実態に合わせ、ミニチャレンジのよい点を取り入れて、工夫して清掃に取り組み、清掃の仕方への理解や技能を高めることである。「上から下へ清掃する」ということを基本に、体育館玄関を見ながら清掃計画を立て(写真1)、実施した。計画の中では、天井のクモの巣を払ったり、すのこを外に出して清掃したりするなどミニチャレンジのよい点が入り込められていた(資料3、資料4、写真2)。



〈写真2 体育館玄関の清掃の様子〉

隅々まで掃除ができた。楽しかった。

茶殻をまいて、ほこりが舞い上がらなかったのよ、よかった。

こびりついた汚れを取る道具を使うことができた。
他の道具も使ってみよう。

〈資料5 児童の感想〉

清掃後の感想からは、工夫できたことや協力してきれいに清掃できたことへの満足感が感じられた（資料5）。家庭でのミニチャレンジだけでは十分に理解して実践することが難しいと思われた児童も、みんなで協力して体育館玄関を清掃することで、清掃の手順に沿って上から下に、隅々の汚れに気を付けて清掃する経験をし、きれいに清掃した達成感を味わうことができた。

3回目の実践（協働）では、校長先生からの課題として、児童が朝奉仕の時間によく取り組んでいる児童玄関のたたき掃除にチャレンジした。タイルの目に合わせてほうきを動かしたり、隅に沿わせるように掃いたりすることなど、技能を向上させるための実践である。

どのように掃くときれいになるかを話し合った後、教え合いながら清掃し（写真3）、校長先生に合格をいただくことができた。

4回目の実践（個別）は、再び各家庭の玄関清掃に取り組んだ。学校での実践を生かし、上から下への手順を意識すること、掃き掃除と拭き掃除を両方行うこと、掃除用具を工夫することなどを期待した。しかし、特別支援学級の児童については、1回目と同じ清掃をしており、理解が確実にできず、指導計画に課題が残った。一方、他の児童については、1回目のミニチャレンジではたたきしか掃いていなかった児童が、上から下への清掃を意識して天井のごみを払うなど、学習の成果が見られた（資料6）。

1回目と4回目の家庭での実践をワークシートに記録するようにしておくことで、児童は自分の成長に気付くことができた。また、保護者にも、児童の学習の成果を感じてもらうことができた。今後は家庭生活で自分の仕事として続けていけるよう、励ましていきたい。



〈写真3 児童玄関清掃〉

「クリーン大作戦 ～めざせそうじ名人」

No.1 名前 ()

★ 自分の家の玄関をそうじしよう！
自分の力で ミニチャレンジ！

| 1回目 そうじの手順 | そうじ用具 | 結果◎○△ | 2回目 そうじの手順 | ◎○△ |
|-----------------|-------------|-------|---|-----|
| 1 ものをのける。 | ほうき ちりとり | △ | 1 くつや、テールなどにはこける物を外に出す。 | ◎ |
| 2 ほうきですみのごみをとる。 | | ◎ | 2 天井のすみを長いほうきでとる。すみはく。かごなどのすみすみはかごなどのすみすみはかごに集める。 | ◎ |
| 3 ものをとる。 | | △ | 3 ごみはかごに入れて集める。 | ◎ |
| 4 | | | 4 外に出した、くつや、テールを平に入れる。 | ◎ |
| 5 | | | 5 | |

工夫したこと
犬の毛などがとりにくかった
ので、毛がつかないように、
ゆっくりやりました。

そうじふり回り

一人できる 環境にやさしい 上から下へ
-1回目
-2回目
かかる時間

感想・反省
おすすめポイント
すみには小さいごみがある
ので、よく見るといいと思います。

反省
もっときれいにやりました。

感想
うかがいやすいごみをとるの作業
がたがたです。次はもっと早くでき
るようになりたいです。

2回目
感想
1回目はできなかった、上から下へ
ができませんでした。すみすみのごみ
をとれたので、よかったです。

家の人から
1回目
普段は掃除の時間がないので、
が、大掃除の時と一緒もあり、お
は、ました。

2回目
1回目で出来なかった部分を
見直し、すみすみまで汚れ
ごみ等をとることができました。

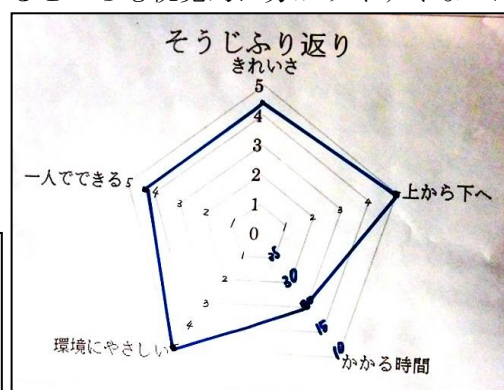
〈資料6 ワークシート〉

イ 言語活動の充実

児童相互で実践を通した話し合いをさせるに当たり、実践の計画や結果をワークシート（資料6）に記録させ、振り返る観点を設定した。観点に沿って発表させることで、発表を聞く側の児童は、自分の清掃の仕方との比較ができ、意見を出しやすくなった。また、評価をレーダーチャートに表すことで、それぞれの清掃のよかったところや改善できるところも視覚的に分かりやすくなった。しかし、全体で意見を発表するときには、教師の質問に答えるだけの単発の発表になりがちであった。

また、体育館掃除の評価をレーダーチャートに表す作業を取り入れ、理由も入れて話し合うようにした（資料7）。ここでは、「きれい」の評価の理由として次のような意見が出た。

- | | |
|-----|--|
| 4 | … すのこの裏をもっときれいにできる。 すのこを拭いたらよかった。 下駄箱はもっときれいに汚れが取れる。 |
| 4.5 | … こびりついた汚れも少しとれたから。 |
| 5 | … すのこの裏を掃いたから。 |

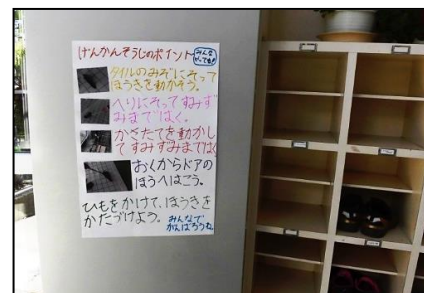


〈資料7 体育館玄関の評価〉

ここで、教師がそれぞれの理解度に配慮し、中間の4.5をすすめてしまったが、よい意見が出たので評価点についても話し合って決めさせると、清掃の仕方を考える実践的思考力が高まったかもしれない。

3回目の実践の児童玄関の掃き方チャレンジでは、どのようにしたらきれいに掃けるかを話し合った後、やって見せたり、教え合ったりしながら取り組んだ。掃き方として、奥から掃く、隅をへりに沿ってほうきを縦に使う、タイルの溝に沿って掃く、ゆっくり掃くなどの掃き方を考えることができた。

最後に、学習の成果を校内へ広げる活動として、朝奉仕での玄関清掃のポイントをまとめて掲示物を作り、玄関に貼り出した。写真を入れて、分かりやすい言葉で説明し、低学年にも理解できるよう工夫をしたり、後片付けの仕方を付け足したりすることができた。掲示物には、「みんなやってね。」「みんなでがんばろうね。」など、下級生を励ます言葉があり、温かい雰囲気のできた掲示物が完成し、よい学習のまとめとなった（写真4）。



〈写真4 玄関清掃の掲示物〉

3 成果と課題

清掃の実践を各家庭でのミニチャレンジから始めたことで、児童が主体的に取り組むことができた。意識の差はあるが、一人一人の実践があったから、自分や友達の清掃のよさに気付くことができ、それを基に実践をしたことで、一人一人が活躍し、清掃の大切さを実感できたと思われる。さらに2回の友達との協働実践で、清掃の仕方についての理解を深め、よりよい清掃の仕方を体験させることができた。みんなできれいに清掃できたことへの達成感や、もっと時間をかけてこびりついた汚れも完全に取り除きたいという意欲の高まりは、確実に見られた。最後に、各家庭の玄関清掃にもう一度取り組むことで、児童は学習の成果を家庭生活に生かすことができた。その一方、配慮が必要な児童の理解を深めるには支援が不足していたところもあり、今後の授業で反省を生かしていきたい。今回、家庭と協力することにより、学校で学習している内容を家庭にも理解していただくことができた。今後、児童が自分の仕事として玄関清掃を受け持ち、家族の一員としての役割を果たしていくことを期待している。

言語活動の充実に関しては、少人数での複式の授業を効果的に進めるためにも、じっくり取り組みたいと考え、ミニチャレンジの実践発表やその評価、感想発表、清掃の手順や方法の相談、清掃中の教え合い、清掃の評価など、いろいろな学習場面で言語活動を取り入れるなど、3人での話し合いや練り合いの場を多く設定した。そうすることで、児童の考えや気付きを引き出し、互いの感想や意欲の高まりを伝え合い、よりよい清掃の理解・実践へとつながった。しかし、時間配分の都合上、練り合いの場が教師主導になりがちだった。今後、さらに研修を深め、児童が主体となって生き生きとした話し合い活動を進められるような手立てや時間確保の方法を工夫していきたい。